

【参 考】

「電話お願い手帳」は、耳や言葉の不自由な方やお年寄りの方が、外出先等で用件や連絡先等を書いて、近くの人に「私のかわりに電話をして下さい」などとお願ひする時に利用するもので、昭和58年に千葉県流山電話局（当時）に寄せられたお客様の要望がヒントとなって作成して以来、今年で27回目の発行となります。

手帳のカバーには燃やしてもダイオキシンが発生しない素材(ポリオレフィン)を、また、手帳本体には100%リサイクルペーパーを使用するとともに、印刷には大豆インクを利用するなど、地球環境保全にも配慮して作成しています。

福島県内では、「電話お願い手帳」約2,700部、これに加えて平成2年からはFAXを使用するとき用件や返事の要・不要を記入することが出来るFAX通信用紙「ふれあい速達便」約3,700部を県内の地方自治体や福祉団体等を通じて贈呈するほか、昨年引き続き、ダイエー様、セブン&アイ・ホールディングス様、イオングループ様にもご協力をいただき、各店舗にて配付していただきます。

全国では「電話お願い手帳」約22万部*を贈呈。

発行部数・・・NTT東日本：約11万部、NTT西日本：約11万部